

## 一般財団法人 Ruby アソシエーション 2016 年度 第 2 回通常理事会議事録

開催日時 2017 年 3 月 08 日（火） 14:00～15:00

開催場所

松江：オープンソースラボ（松江市朝日町 478 番地 18 松江テルサ別館 2 階）

東京：ネットワーク応用通信研究所様オフィス（東京都千代田区外神田 5-6-12 コーワビル 3 2 階）、  
笹田理事任意の場所

福岡：田中理事任意の場所

理事総数 6 名

出席理事 5 名 松江：松本行弘（理事長）、井上浩（副理事長）、山根泉（理事）

東京：笹田耕一（理事）、橋本明彦（理事）

福岡：田中和明（理事）

出席監事 今岡正一

事務局：前田修吾（事務局長）、横田早百合（事務局員）、徳永翔二（事務局員）、江角俊秀（事務局員）

オブザーバー：佐藤文昭（まつえ産業支援センター）、永岡久典（島根県情報産業振興室）、  
杉原健司（支援スタッフ）、江角治尚（支援スタッフ）

定款第 39 条の規定により出席理事から井上浩副理事長を議長として選出し、井上副理事長が議長席につき、当財団の理事現在数 6 名中、定款第 40 条第 1 項及び第 2 項の規定に従い、議長を含め議決に加わることのできる理事 6 名の出席により定足数を満たしたので本理事会は有効に成立した旨を宣し、テレビ会議システムにより出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにてぎる状態となっていることを確認のうえ議事に入った。冒頭、松本理事長より有意義な財団事業の実施に向け本日の議事進行、協議に期待する旨の挨拶があった。

### ■ 審議事項

審議事項 1：「2016 年度 事業報告書案、決算見込」

定款第 7 条第 1 項に基づき（審議事項 2 以降も同様）、議長の指名により徳永事務局員が 2016 年度事業報告書案の説明を、横田事務局員が 2016 年度決算見込の説明を行った。

以下、質疑応答。

橋本理事：Ruby 技術者認定試験の売上原価の中に、海外版 Gold 試験の作成費用が含まれているとのことだったが、その部分はいくらになるか。

横田事務局員：翻訳費用、配信に関する費用等を含め 544,000 円だ。

審議の後、議長がこれについての承認を求め、全員異議なくこれを承認した。

審議事項 2：「2017 年度 事業計画案、予算案」

議長の指名により徳永事務局員が 2017 年度事業計画案の説明を、横田事務局員が 2017 年度予算案の説明を行った。

以下、質疑応答

山根理事：予算において、事業費用の中の広告宣伝と Web 活用（情報発信事業）についてその決算見込と予算を比較すると、予算は決算見込みの半額程度になっている。広報活動については重要視されているところだと思うが、この点についてはいかがお考えか。

横田事務局員：今年度については、ウェブサイトリニューアルや出雲空港の広告等の一時的な経費でいつもより多く費用がかかっているというところがある。

徳永事務局員：広報については、Ruby アソシエーションの活動内容に関するパンフレットの配布等、財団の活動について広く知っていただくために継続的に取り組みたいと考えている。

橋本理事：「その他の助成」についての広報はどう考えておられるか。

前田事務局長：位置づけとしては、一般のユーザーコミュニティの支援というよりは、Ruby の開発に関連するような活動で従来のプログラムではカバーできないようなところへの助

成をしたいというものであり、広く一般的に応募を募るというよりはRubyの開発になるべく直接的にメリットがあるような事を支援したいと考えている。

笹田理事：「その他の助成」の100万円という額については、現状維持が適切か、あるいは増減する必要があるかどうかについて議論させていただきたい。

前田事務局長：開発合宿支援等、今年度の活動については有意義であったという認識だ。予算の増減については、具体的な話があれば検討しやすいが、ひとまずは現状の額が適当かと考えている。

笹田理事：渡航費支援等の後々の情報公開と効果の測定についても検討していただきたい。

橋本理事：教育分野に関する活動の今後の位置づけについて伺いたい。

前田事務局長：Ruby Campusについては、今年度は島根大学で試験的に開催したが、イベント運営において主体的に動いていただける学生さんがいないと進めづらいといった面があり、今後こういった事業をどれだけ全国的に展開していくかというところは、そのノウハウも含め検討していく必要がある。

橋本理事：RubyWorld Conferenceの負担金100万円というのは、額として適当か。

前田事務局長：主に島根県と松江市にイベントの基本的な運営部分の資金を提供していただきおり、それ以外の部分を協賛金で賄うという体制だが、ここ数年はお陰様で協賛金をたくさんいただいております、毎年収入が支出よりも多いという状況が続いているため、Rubyアソシエーションの方でこれ以上の資金をこちらに当てる必要性がないという状況ではある。主体的にこの事業を進めるという姿勢を示すという意味で、一定こういった額を支出させていただいている。

審議の後、議長がこれについての承認を求め、全員異議なくこれを承認した。

#### ■協議事項、その他

協議事項：「理事の改選について」

議長の指名により横田事務局長が、2017年6月開催予定の定時評議員会の場をもって現理事の任期が満了になることに伴い、理事の改選について説明を行った。

事務局が現理事全員の再任を求めたところ、現理事全員がこれを承認した。

その他、議場から以下の意見があった。

まつもと理事長：Ruby job boardが更新されるとよいと思う。

以上この議事録が正確であることを証するため、定款第43条の規定により、代表理事理事長（松本行弘）と出席監事（今岡正一）は、次に記名押印する。

2017年3月8日

上記の通り相違ありません。

一般財団法人 Ruby アソシエーション

代表理事理事長 松本 行弘



監事

今岡 正一

